

Sep

2025

藍サポ通信

— 明日に向かって —

vo1.57

表紙：南館夏祭り

祭

夏

祭

タイトル

- ・南館 毎年恒例夏祭り、みんな大好き調理活動
- ・くれよん くれよんの夏休み！
- ・くれよん くれよん特集記事
- ・本館 週2回のリラックスタイム
- ・居宅介護ひらの ヘルパー日記

2025年9月度 季刊誌

毎年恒例夏祭り

(生活介護藍南館)



夏祭りの日の午前中は職員によるコンサートをしています。ギターやオカリナの演奏では、七夕やきらきら星をみんなで歌ったり、パブリカの曲ではダンボールを太鼓に見立てて叩く利用者さんや、前に出てきて手話やダンスを披露する利用者さんもいて、大盛り上がりでした。午後からはお待ちかねのお祭り開始！店番をしている利用者さんは「いらっしゃーい」と声を出し呼び込んで、店を回る番の利用者さんはどの店から回るか悩んでいる方もいれば、ゲームで高得点を狙い本気で挑まれる方もいて、それぞれ楽しまれていました。

みんな大好き調理活動

(生活介護藍南館)

調理活動では昼食時に提供する味噌汁作りをしました。玉ねぎや豆腐を切りお鍋に入れ味噌を溶かし、完成した



後は各フロアに持っていき「お味噌汁出来ましたよ」と声をかけていました。昼食後は感想を聞きに行きたいとの事で皆に感想を聞きに行っていました「おいしかったよ」と声を掛けられ嬉しそうな様子でした。



くれよんの

夏休み！



くれよんでは、今年の夏休み期間もたくさん企画を行いました。何をしたのか!?いくつか抜粋して紹介します。

今年の工場見学は京都のコカ・コーラ工場に行きました。普段飲んでいるお茶やジュースがどんな風に作られているのか?甘い香りがするなか、みんな真剣に見ていました。記念写真を撮ったり、ゲームコーナーで遊びながら学んだり、最後は好きな飲み物をもらって大満足な一日でした。



昨年からは始まった本格的な調理実習ですが、今回は昼食作りとして冷やし中華を作りました。別の日には三色丼(そぼろ・卵・ほうれん草)と、チームに分かれて食材やメニューを決めた副菜とみそ汁を作り、バランスの良い食事とは?を考えながら作りました。



毎年恒例のくれよん夏祭り。今年はいつもと違った景品が登場したり、新しいゲームコーナーが出来たり、景品ガチャが登場したりと少し新しいも

のを取り入れてみました。年々夏祭りらしさがアップデートされていきませんが、くれよんとしては子どもたちにもっとお祭りを味わってほしいと思います、これからも進化できるように考えていきます。



他にも、映画鑑賞や色々な場所へのお出かけなど盛沢山でした。

夏休みも終わって、運動会や文化祭の季節が近づいてきました。練習に疲れながらも“こんなことするよ!”と子どもたちから話を聞けるのが楽しみな時期です。



くれよん特集記事



前号の特集記事『卒業生の今』ではNさんへのインタビューを通して、くれよんでの過ごしや進路の決め方、進み方をお伝えしました。今回は、くれよんの子もたちが進学や就職といった、進路先を決めるにあたって取り組んでいることを紹介します。

【普段の学校生活について】

毎日朝起きて学校に行くこと・宿題をすること・提出物を出すこと等、継続して何かに取り組むということは、今後の進路先の幅が広がることに繋がります。最近、提出物が内申に大きく影響すること、テスト前の子もたちにはテスト範囲の勉強だけでなく、提出物の進捗状況を確認することも増えました。

最近は色々な理由で登校が難しいお子さんもいますが、学校に行くのが難しい場合でも無計画に過ごすのではなく、出来るだけ規則正しい生活を

し、何か一つでも継続して取り組めることを一緒に見つけていきます。例えば「朝7時に起きる」と決めて毎日実行することも、継続して取り組むことになります。継続するにあたり、くれよんの職員だけではなく、保護者さんの協力もなくてはならないものです。家庭や各機関との連携が、本人の健やかな支援に繋がると思われます。

【受験や勉強について】

最近のくれよんでは、小中と地域の学校へ通われ、高校受験するお子さんが少しずつ増えてきており、上の学年や卒業生など先輩の実体験としての話を直接聞く機会も増えていきます。以前、進路についての話をするために卒業生がくれよんに来てくれた際には、進路先の決め方であったり、受験勉強について、いつから・何を・どのくらいの期間など、受験を控えている子どもたちが自ら気になることを積極的に聞いていたようです。

【学校との連携・保護者との連携】

受験を控えている子ども本人は、な

んとなく“〇〇学校に行こうかな”“友達も行くみたいやし”“制服かわいいし”と受験の動機が曖昧なイメージを持っていることがありますが、上記で記載しているように実体験の話を聞くことによって、進路先の決め方が明確になってきたり、勉強への取り組み具合に力が入っていく印象です。成績の把握や、どんな学校があり、本人が希望している学校を受験できるかなどをよく知っているのは学校の先生と保護者さんであると思います。学校と保護者さんとの連携・保護者さんとくれよんとの連携で受験する学校の選択が進んでいくことが多いと思います。日々の宿題や受験対策のような勉強への取り組みも大事ですが、くれよんではそれに加えて、志望動機と一緒に考えたり、面接の練習をしています。自己紹介や今まで取り組んできたこと、これから挑戦してみたいことなど、自分のことについて相手の方にわかりやすく伝えることはとても難しいと思います。面接となるとアドリブ力も試されていますよね。学校での練習にも限りがあり、自宅だと恥ずかしさや慣れで本番とは同じようにすることは難しいのでは

ないかということ、くれよんでは机とイスを設置し、入室から退室まで、質問中もいつもとは違い緊張感を持って実施しています。練習の際に、緊張で震えるお子さんもいましたが、「練習したからまだ大丈夫だった。」と本番での様子を教えてくださいました。

【卒業後の進路先】

主に受験のことについて書いてきましたが、学校や放課後等デイサービス卒業後は生活介護や就労支援の事業所に進むお子さんも多くいます。

学校がご家族から実習先の希望を聞き取り実習先を決めています。現在利用している福祉サービスがあれば、同法人内にある事業所が実習先になったりもしています。実習であれば限られた時間や、期間なら過ぎていても、卒業後に通うとなると実際に本人に合っているのかを見極めることは大変だそうです。

くれよんとしては、本人に実習に行ってみてどうだったかを聞いて、本人の反応を見て保護者さんと話し合ったり、保護者さんとしての思いをくみ取るようにしています。1番よく聞く

のは、通っている本人が楽しめる場所・安心できる場所であるかどうかということが多くです。実習の際の話を保護者さんから聞いて、職員間で考えて提案することもあります。

進路先が決まり、利用が始まるまでにくれよんとして取り組んでいることは、進路先で少しでも安心して過ごせる場所になるように、しっかりと引き継ぎをすることです。進路先の職員と話しをする場を設けて、今までくれよんで大切にしてきたことや、継続して支援する必要がある課題などを伝えていきます。

10月くれよんバーベキュー開催

着々と準備進行中です。

お楽しみにね。

週2回リラックスタイム

生活介護藍（本館）

生活介護藍（本館）では、毎週月曜日と金曜日の午後の活動としてマッサージを行っています。

前職でマッサージの経験を積み、リンパマッサージやハンドマッサージの資格・知識を持つ職員が講師となり、週2回のリラックスタイムを開催しています。



ヒーリング効果のある音楽を流し、マットに横になって職員と利用者さん

がほぼ1…1で行うマッサージ。「ここ固いな〜」などと身体の状態や反応を確認し、コミュニケーションを取りながら丁寧にほぐしていきます。いつもは周りの声が聞こえないぐらい賑やかな瞬間がある本館ですが（笑）、この時間だけは穏やかでゆったりとした空気に包まれます。



あまりの心地よさに、眠ってしまう利用者さんも！

普段アクティブに動く方にはもちろん、ほぼ一日中バギーに座って過ごす方や、運動の機会が少ない方にとっても、マットに横になってゆっくりと身体を伸ばせる貴重なひとときとなっています。

利用者さんも職員も、毎週のマッサージの時間を楽しんでいます。

ヘルパー日誌

ニヤツと

毎週居宅介護の支援でご自宅に訪問している利用者さんがいます。その日もいつものように支援を終え、報告書を記入していると、利用者さんが突然「盆踊りあるねん」と言われ、「どこで？」と聞き返すと「あつこのグラインド。今度の土曜日と日曜日にあるねん」と言いながらグラインドがある方向に指をさされました。盆踊りに行きたいかはわかりませんが、普段自分からどこかに行きたいと話される方ではなかったので珍しく思い「一緒にでかけましょうか」と尋ねたらニヤツと笑みを見せ「行く」と一言。あつというまに盆踊りの外出企画が成立しました。盆踊り当日、自宅のインターフォンを鳴らすと「はい」と返事があった後に扉が開いてすでに出発準備を終えた利用者さんがでてきました。エアコンを切って戸締りをしてすぐに自宅を出発。辺りは真っ暗でしたが、会場に近づくにつれて、徐々に明るくなり、屋台からは焼きそばの

おいが漂い、飾られた提灯の灯かりがより楽しい気持ちにさせてくれます。また、中央にあるやぐらでは演歌の生歌が披露され、会場を盛り上げておられました。利用者さんは、歌には興味がないうえ、やぐらの前をスタスタと歩いて通り過ぎ、途中子どもたちが射的をする様子を目にするのと立ち止まって見ることがあったので射的をするのかと思い「射的する？」と聞くのと「しない」。その後も「焼きそば食べる？」「いらない」など何かをする様子がないままぐるっと一回りするとそのまま会場を出ようとされたので、声をかけて色々と提案してみました。話をしているといつのまにか演歌の歌声がなくなり、やぐらの周りが静かになっていくことに気が付きました。しばらくするとやぐらの2階部分に人が上がりだし、何やら準備をしている様子が見えたのでこれは何かあると思いにしました。すると着物をきた女性がやぐらの一番前まででてきて挨拶と自己紹介を済ますと、太古を叩く音が鳴りだして河内音頭が始まったのです。曲が進むにつれて徐々にやぐらの

周りで踊りだす人が増え、盆踊りらしい良い雰囲気。横をみると利用者さんも「エンヤコラセードッコイセ」の歌声にあわせてその場で体を動かしリズムをとり始めました。その後もしばらく河内音頭を楽しまれていました。夜でしたが、まだまだ気温が高く、暑かったこともあり帰宅することにしました。自宅までの帰り道、以前は団地の敷地内で盆踊りをやっていたことや、知っている人にもたくさん会ったことなど昔の出来事を懐かしむように教えてくれました。帰宅してからも「家では音（河内音頭）せえへん」と言って盆踊りへの思いに浸っておられました。

く盆踊りその後く

別の日、用事でいつも訪問している時間より少し遅れて訪問することがあったのですが、利用者さんはどうやら会議で遅れたと思い込んでしまっているようで、「何の話」と会議の内容が気になる様子。遅れた理由は会議ではないと何度か伝えてもなかなか信じてもらえず、繰り返し会議の内容を知りたがる利用者さん。まさかとは思いましたが、「どこかにでかけたいの」と尋ねると盆踊りの時と同じでニ

く行動援護始めましたく

居宅介護ひらののは9月から行動援護の利用ができるようになりました。行動援護は、誰でも利用できる制度ではありませんので、詳しい内容や、対象者にあたるかなど知りたい方はご連絡ください。利用にあたっては契約手続きや、計画書の作成などが必要になりますので、ご協力よろしくお願ひします。

有限会社ひらののホームページがリニューアルされました。



HP
yuhirano.ai-snet.com

藍サポ通信—明日に向かって— について

当季刊誌では、利用者様の事業所内や様々な活動でのご様子を公開しています。利用者様のご様子を季刊誌を通じてお伝えすることで、ご家族の安心や福祉サービスの利用を検討されている方々のご参考になれば幸いです。

これらの広報活動を通して私たちの活動について周知を図るとともに、今後も様々な活動を充実・向上させていきたいと考えています。

※当季刊誌に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

編集

一般社団法人 地域生活サポート協会 広報委員会

大阪市平野区平野西 1-7-14 / TEL 06-6777-1159

社員法人

社会福祉法人藍

大阪市平野区平野西 1-7-10 1F / TEL 06-6777-1567

有限会社ひらの

大阪市平野区平野西 1-7-10 2F / TEL 06-6777-1539

安心創造

Create our peace of mind



HP

ai-snet.com



HP

shafukuai.ai-snet.com



HP

yuhirano.ai-snet.com



Instagram

@aisupportnetwork